



久留米市文化観光部文化財保護課

文化財マップ

柴刈・川会・竹野校区の
しほかり・かわい・たけの

0942-34-4995 FAX.0942-34-5045 (表紙) 中原狐塚古墳奥壁 (国指定史跡)

発行：久留米市
平成19年3月31日
文化財マップ
柴刈・川会・竹野校区の
文化財マップ
編集：文化観光部文化財保護課

久留米市文化観光部 文化財保護課
久留米市城南町15-3 (市役所16階)
0942-30-9225 FAX.0942-30-9718
久留米市埋蔵文化財センター
久留米市諏訪野町1830-6 (スーパードラッグ敷地内)
0942-34-4995 FAX.0942-34-5045



市内の遺跡から出土した土器や、図面・写真などの記録を収蔵・整理・研究するため、平成6年4月にオープンしました。センターでは、資料の貸し出しや文化財に関する相談に応じています。また、企画展として『ふる里の歴史とふれあふ展』や毎年秋には『考古資料展』を開催し、合わせて体験学習や現地説明会・スライド映写会など盛りだくさんの企画を行っています。
歴史に興味のある方もお気軽にお越し下さい。
開館時間：午前9時～午後5時
休刊日：土・日・祝祭日・年末年始
入館料：無料



久留米市埋蔵文化財センターのご案内

■柴刈・川会・竹野校区の文化財■

旧竹野郡の西側に位置する柴刈・川会・竹野校区には、古墳をはじめ、多くの文化財が、分布しています。この3つの校区は田主丸町と合併する以前、それぞれ、柴刈村、川会村、竹野村として存在していました。旧久留米市との境に位置するこれらの校区は、国道210号線、県道久留米草野浮羽線が東西に走り、北は筑後川を挟んで三井郡大刀洗町と片ノ瀬橋で繋がる交通の要所として発展して来た歴史があります。

そんな3校区には、川と山の生活を基にした文化が根付いています。竹野校区の山麓には石鏃（石で作った矢の先端部分）が見つっていますが、縄文時代の遺跡は発見されていません。ムラと呼べそうな遺跡は平地区に弥生土器が採集される場所があり、その辺り一帯に弥生時代の人々が生活していたと考えられています。また、西郷地区では弥生時代のお墓である甕棺が見つかり、柴刈小学校遺跡では漁撈に使う土錐が大量に出土しています。

耳納山麓には古墳が多いことで知られていますが、竹野校区にも富本古墳群、隈古墳群、善院古墳群等の古墳が密集している地域があります。その中には石室に絵が描かれた古墳があり、装飾古墳と呼ばれています。この耳納山麓は、全国的に見ても有数の装飾古墳密集地帯で熊本県菊池川流域、北関東一帯と並んで有名です。

奈良時代になると、竹野の三明寺地区には「長者の井戸」の言い伝えが残っています。筑後国司道君首名の子孫が竹野郡を治めたと伝わる竹野郡衙跡ではないかと推定されています。ここから西へ500m行ったところに竹野小学校遺跡があり、ここからは墨書土器が出土しています。また、巨瀬川以南の水田は、奈良時代に条里制と呼ばれる田圃の区画整備がよく残っています。



竹野小学校遺跡出土墨書土器



柴刈小学校遺跡出土丸靴

■いろいろあります。柴刈・川会・竹野校区の文化財■

遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
大窪遺跡	弥生・中世	弥生土器や土師器が見つかっています。
伯東寺室	町	県指定有形民俗文化財に指定されている輪蔵付経蔵があります。
柴刈小学校遺跡	弥生・平安	大量の土錐や平安から鎌倉時代の墓が見つかっていて中国から輸入された銅銭が発見されました。
八幡河原	江戸	享保、宝暦一揆の舞台となった河原です。
恵利堰	江戸	筑後川の水を田圃に引き込むための堰です。
恵利神社	江戸	市指定天延記念物の楠があります。
原東遺跡	弥生・近世	弥生土器や近世陶磁器が見つかっています。
素盞鳴神社	江戸	市指定有形民俗文化財の河童木像があります。
志床遺跡	弥生・古墳	弥生土器や須恵器が見つかっています。
筑陽遺跡	弥生	大量の弥生土器が見つかっています。
唐島西遺跡	弥生・古墳	弥生土器や須恵器が見つかっています。
牧八幡神社	平安	市指定有形文化財の如意輪観音像があります。
日吉神社	奈良?	市指定天延記念物の楠があります。
西郷天神免遺跡	弥生・古墳	発掘調査で弥生時代の甕棺や古墳時代のカマドを持つ住居跡が発見されています。
西郷遺跡	古墳・鎌倉	古墳時代の溝や鎌倉時代の井戸が見つかりました。
平遺跡	弥生	弥生土器が多く見つかっています。
平知盛塚	不明	平知盛の墓と伝えられています。
隈古墳群	古墳	5つの円墳が見つかっています。その中の3号墳は装飾古墳で、船と同心円文が描かれています。